

駅前とひらふ地区の掛け橋に



北陽小6年生の児童たち約30人が『倶知安町ガイドブック—平成24年冬号』を作成しました。「駅前商店街の魅力をひらふ地区の人たちに届けよう」という思いを持った児童たちが、一人1ページを担当して、商店街のお店の情報満載なガイドブックになりました。

できたガイドブックは、ひらふ地区のお店やホテルなど観光客がたくさん集まりそうな場所に置かせてもらっています。北陽小児童たちの力作です。見つけたらぜひご一読してはいかがでしょうか？

展覧会のお知らせ

常設展

「小川原脩 自伝的な展覧会—小川原脩*どうぶつランド」
1月17日から作品の一部が変わります。動物たちの表情も一段と楽しそう。

企画展

「上田茂展—澄明な風景」1月14日(月)まで開催
水彩絵の具を薄く重ねながら描いた森の四季折々の情景、清々しい気持ちにさせられます。

「想像する展覧会—不思議・ふしぎこの絵何だろう…？」

不可思議な作品、何を描いたのかわからない作品、目が点になるような作品、想像する楽しさを味わう展覧会です。1月17日(水)から開催します。

ロビー展

「白い森」渡辺洋一作品展

白い季節にだけ分け入ることができる森の中、数百年もの間さまざまな事象を見続けてきた大樹を渡辺洋一さんの眼で捉えた作品を展示しております。1月31日(木)まで。

—お知らせ—

真冬のコンサート

クラリネット、フルート、チェロ、ピアノによる四重奏。関西フィルの首席クラリネット奏者梅本貴子さんをはじめ、4人の演奏家による真冬のコンサートを開催します。

日時 1月26日(土)18時開場 18時30分開演

入場料 一般2,000円 小中学生1,000円

友の会会員は1,800円

その他 美術館へ要予約



ミュージアム通信

小川原脩記念美術館

☎21-4141 FAX 21-4142

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/somoa/index.jsp

倶知安風土館

☎22-6631 FAX 22-6632

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/hoodokan/hoodokan.jsp

開館時間は9時～17時(入館は16時半)

1月の休館日 1～3、8、15～16、22、29日

木田金次郎美術館 ☎ 0135-63-2221

1月3日(木)より開館します。

没後50年「木田金次郎と中谷宇吉郎」展開催中
高校生によるワークショップ

1月9日(水)13時30分から

西村計雄記念美術館 ☎ 0135-72-2525

1月3日(木)K・U・DAY

開館13周年記念

「風景との対話—北海道、パリ、沖縄—」開催中
第10回「お正月夕ヨ! おやこでてづくりたこあげ大会」

1月4日(水)参加費 300円

荒井記念美術館 ☎ 0135-63-1111

冬期休館中

絵本館 10～18時 (水曜休館)



『だいいょうぶ3組』
乙武 洋匡

5年3組の担任としてやってきたのは手と足のない先生でした。28人の個性豊かな子どもたちと先生の1年が始まります。

乙武 洋匡

絵本館おはなし会 **こびとの森**

■日時／1月26日(土) 11時～

■内容／
大型絵本へびくんのおさんぽ
エプロンシアター
おむすびころりん
OHP 十二支のはじまり

今月のおすすめ
うきわねこ 蜂飼耳
どうやってつくるのかな
(パンから電気まで) フトソン
月あかりのおはなし集
アトリー

年末年始のお休み
12月28日(金)～1月5日(土)
1月22日(火)図書整理のため休館

公民館3階図書室 10～17時 (月曜休館)

図書室講座第3弾 クリスマスリース作り終了



今年もいろいろと企画しますのでお楽しみに♪

今月の新着

旅猫リポート	有川 浩
七つの会議	池井戸 潤
ことり	小川 洋子
けさくしゃ	畠中 恵
ブルーマーダー	菅田 哲也
神去なあなあ夜話	三浦 しをん
まりしてんぎん千代姫	山本 兼一
路(ルフ)	吉田 修一
人生の旅をゆく2	よしもとばなな
カジュアル・ベイカンシー・II	J・K・ローリング

年末年始のお休み
12月28日(金)～1月5日(土)

●おせちに飽きたら野菜たっぷりお鍋はいかが!?●



昨年いきいきライフ検診(メタボ検診)を受けた方の食生活に関するアンケートを見ると、一番気になるのは野菜不足です。食生活で気をつけていることの1位が「野菜を多く食べるようにしている」ですが、実態は1日にとってほしい野菜量350gの半分の量しか食べていませんでした。

野菜350gは両手1杯くらいの量です。いきなり350gとりましようといわれても無理～と思うかもしれませんが、「いまよりも1品多く」が増やすコツです。たくさん食べる工夫としては、生野菜よりも加熱するとかさが減るので、汁物に入れたり、蒸したりするとたくさん食べられるので、意識して食べましょう♪

栄養士 小屋畑麻未



お家にある残り野菜でもおいしく作る事ができます♪

◎やさいたっぷりみそ鍋◎ 材料 4人分

- ・白菜 1/4個・にんじん 1本・たまねぎ 1個
- ・じゃがいも 2個・しめじ 1パック・しいたけ 4個
- ・長ねぎ 1本・木綿豆腐 1丁・鶏手羽 4本
- ・味噌 大さじ3・しょうゆ 大さじ1・水 カップ6
- ・豆板醤 お好みで

①白菜はざく切り、にんじん、たまねぎは薄切りにする。長ねぎはななめ切り、じゃがいもは1/4個に切り、しめじ、しいたけは石づきとってほぐしておく。

②鍋に水、調味料を入れ火の通りにくい野菜、鶏肉を入れ煮る

③味噌、しょうゆで味を整える。お好みで、豆板醤もOK

1人分 エネルギー 222kcal 塩分 2.3g

感動の場 一点

『犬』

年代不詳 小川原 脩画

小川原が描く色紙は、余白が絶妙に活かされている。20数センチ四方の厚紙の画面は、構図の取り方が難しい。和筆やサインペンを白い画面に置く瞬間、迷いは全く感じられない。最初の一点に集中したあとは、実に自在な線で描ききっている。犬、馬、魚、植物、そして風景も動きがあっていい。さて、この作品だが、荒々しい線が重なり合って陰影を醸し出している。四肢をしっかりと地につけ、線の奥に見え隠れする眼は遠くを見るような表情だ。目線の向こうには確かな未来が見えるのだろうか、それとも・・・



ふるさと探訪

あの時代 この時代

その42 『旭ヶ丘スキー場』 昭和34年頃

357回



大正12年第1回倶知安スキー大会がスキーが岡で開催されました。スキーが岡とは大仏寺横の斜面を云っていたそうです。やがてスキーが岡が大仏寺スロープと名を変えました。昭和39年、この年から本格的に始まったスキー場整備によって、長年「大仏寺スロープ」として親しまれてきた市街地近くの小さなスキーの山が旭ヶ丘スキー場として生まれ変わることとなりました。リフトの建設、レストハウスの設置、ジャンプ台の建設などによって旭ヶ丘スキー場は町民の冬のスポーツの格好の場として価値が高まってゆきました。昭和32年から始まった「フルヤ杯争奪スキー大会」（後にフルヤ杯少年少女スキー大会に）は小

中学生の人気を呼び、多くのスキー選手を育てる大会となりました。この写真はフルヤ杯少年少女スキー大会のひとコマでしょうか。スキーを装着して雪面を踏み固めるようにして斜面を登っています。